

当院における血液培養検査の試み

◎渡邊 一史¹⁾、木南 有希¹⁾、高橋 和也¹⁾、下川 浩克¹⁾、外山 佳澄¹⁾、本城 直久¹⁾、新靱 茂樹¹⁾
医療法人 輝栄会 福岡輝栄会病院¹⁾

【はじめに】福岡輝栄会病院は、福岡市東区に位置する病床数 259 症の二次救急医療機関である。検査科の業務内容として、生化学、血算、免疫、輸血、生理検査、外来採血を 13 名の技師で行い、11 名の技師で、当直業務を行っている。病理検査、細菌検査は外部委託としている。2021 年に GeneXpert システムを導入し、2022 年に FilmArray を導入した。当初、新型コロナ PCR 検査を目的としていたが、アフターコロナを考えるに当たり、病院にとって必要なのは何かと考えるようになった。GeneXpert は導入当初より、*C.difficile* トキシン B の検出、血液培養中の MRSA の検出が可能であることに注目していた。また、FilmArray は血液培養パネルが存在し、複数の菌の検出が可能であることがわかり、血液培養の院内検査の移行を行った。

【対象・方法】2022 年 4 月より、バーサトレック（ベックマン・コールター）にて培養を開始し、陽性転化した血液ボトルを用い、グラム染色、FilmArray による分析を行った。感受性試験は、検査センターに依頼した。

【結果】4 月の血液培養依頼件数は、14 名 85.7%が 2セット培養であった。陽性は 1 件であったが、コンタミと考えられた。5 月は 25 名 100%の 2セット培養であった。陽性は 5 件であり外注先の同定結果と全て一致した。陽性率は 20%であった。培養開始から結果報告時間は 16 時間であった。

【まとめ】血液培養の院内検査化は、適切な抗菌薬の選択を迅速に行うことができる有効な手段である。細菌検査の設備の必要がなく、PCR を用いた血液培養に特化した細菌検査であるが、臨床に有用と考える。

連絡先：092-681-3115